

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）  
セッション討議内容の記録

セッション名：意識調査分析（2）	
日付：11月21日（土）曜日，セッション時間：10:45-12:15	
司会者名（所属）：寺部慎太郎（東京理科大学）	
討 議 内 容	セッション全体：特になし．
	<p>（34）引地博之（東北大学大学院文学研究科）：居住地における協力行動の促進 - 歴史資産の熟知度と地域コミットメントの効果 -</p> <p>「居住年数による統制」とはどのようなものか？</p> <p>当初のモデルの潜在変数に「居住年数」が影響を与えていることが予想されたので，その影響の有無を調べた．その結果，居住年数を追加しても，他の変数間の因果関係は当初のモデルとまったく同じだったので，居住年数が潜在変数間の相関に与える影響は大きくないと言え，当初のモデルは十分な妥当性があることを示している．</p> <p>新興住宅地でもモデルが成立したということは，歴史資産が少ない地域でも地域コミットメントが高くなるということを意味しているのか？</p> <p>モデルで想定した心理構造が新興住宅地住民にも成り立つということである．歴史資産の熟知度や地域コミットメントの評価値は新興住宅地では相対的に低い．</p> <p>歴史資産が多くて地域コミットメントが高い地域では，かえって歴史資産を重視しすぎるあまり必要な基盤整備への反発が高くなってしまわないか？</p> <p>そのようなことはありうるが，歴史資産を重視した設計としたり，より議論が深まったりできると解釈できる．</p>
	<p>（35）赤塚健人（大同大学大学院）：犬飼育のための都市環境における諸課題の検討</p> <p>動物福祉という観点は重要</p> <p>飼っている犬の大きさと様々な意識の関係があるのではないか？</p> <p>犬の大きさやしつけ教室参加の有無などは聞いているか？</p> <p>聞いていない．</p> <p>介助犬や盲導犬用の施設は公的に整備すべき．</p> <p>一部のマナーの悪い飼い主が原因で飼育者全体が悪く思われるのは不本意だという意見が多かった．</p> <p>公共交通機関の種類や利用頻度によって意識は異なるのではないか？</p>
	<p>（36）門脇昌純（茨城大学大学院）：近世城下町を基盤とする地方都市の中心部における居住地環境と定住の関係性 - 島根県松江市をケーススタディとして -</p> <p>街の中心部に住みたいか周辺部に住みたいかということと定住意向の関係はあるか？</p> <p>分析途中ではあるが非定住意向の理由として「現在の居住地が不便だ」という回答が多かった．定住を規定する様々な要因を説明変数に，定住意向を非説明変数にして，重回帰分析や数量化Ⅰ類をやってみてはどうか？</p> <p>属性としては家族構成などのライフステージが定住（移住）意向に大きな影響を与えているのではないか？</p>